



#Kataribe

Kataribe (語り部) を世界へ

"Kataribe" to the world



「2011年3月11日」 東日本大震災による津波で被災した 三陸地域（青森県・宮城県・岩手県）

2011年3月11日(金)の14時46分18秒(日本時間)、三陸沖、深さ約24kmを震源とする地震が発生した。マグニチュード9.0(最大震度7)、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震。これが東北地方太平洋沖地震である。

この地震により、波高10m以上、最大遡上高40.1mにも上る巨大な津波が発生、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害を受けた。

海とともに暮らし続けてきた「三陸地方」でも、いたるところで津波による甚大な被害を受け、多くの尊い命が奪われた。

震災による死者・行方不明者は1万8429人。

この事実、経験を未来へ語り継ぎ、世界へ発信し続けることが必要であり、生かされた私たちの意義である。



震災直後の南三陸。

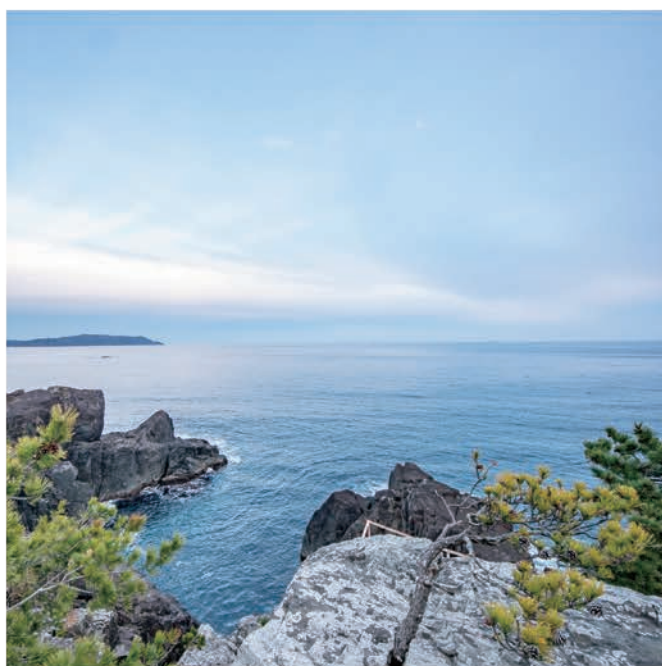




あらゆるものが原型を留ておらず、津波の凄まじい脅威が感じられる。

その地域は、過去何度も津波という自然災害に遭遇し、多くの犠牲者を出しながらも、人々が得た教訓を糧に発展してきた地域でもあります。

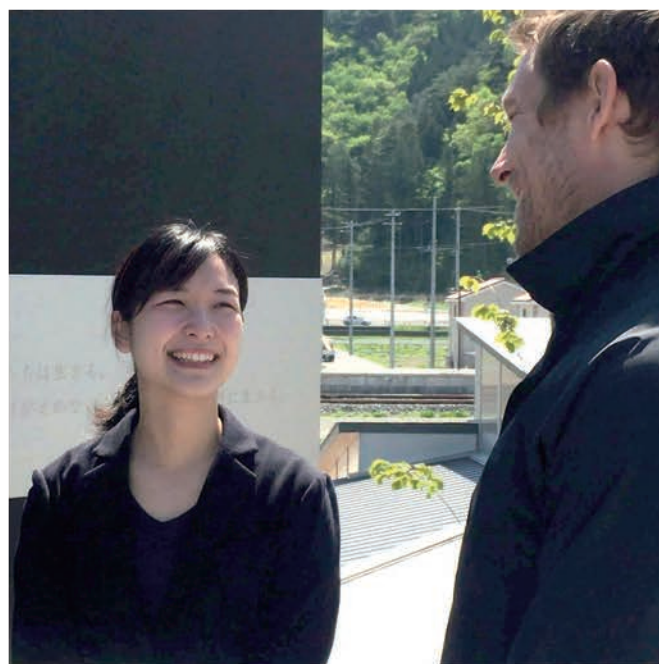
またその地域の人達は、海・森・川などの豊かな自然、海の恵みと共生し続け、自然災害から命を守ることの大切さや社会に生きることの大切さを強く感じながら暮らしています。



リアス海岸の岬から望む太平洋。雄大な自然が広がる漁業が盛んな町。

このような、津波被害を受けた地域で、それらを世界の人々に語り伝える人を「Kataribe(語り部)」といいます。

その中で、それらの大切さを世界の人々にも感じ、学んでほしいという思いから、ストーリーテリング(語り部)を行い続けている人が存在します。



震災当時中学生で被災者の一人だった菊池のどかさん。現在は釜石エリアの「Kataribe」として活躍。



#Kataribe 紹介



南三陸

志津川湾を囲むリアス式海岸を望む、静かで美しい街並みでした。東日本大震災で甚大な被害を受けてもなお、海と向き合い海と共に生きることを決め、地域の魅力を発信し、全国から多くの人々が訪れています。

緊急時こそリーダーシップを。
宿泊施設としての使命、
事実を伝え続ける使命。

南三陸ホテル観洋 女将
阿部 憲子

リーダーシップ

1



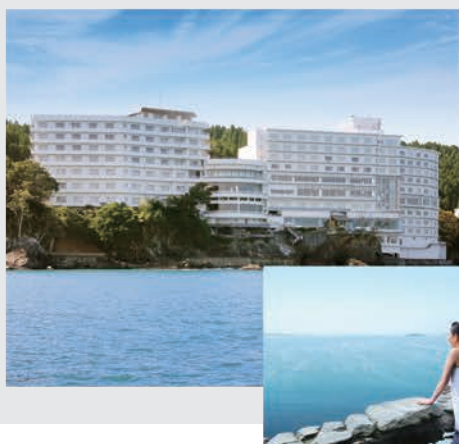
震災発生直後続々と地域住民の方が避難してきたことから、ホテルのスタッフを集め自分達にできることを確認しました。状況がわかってくるにつれ『人々の受入先にならないといけない』という意識で電気も水も止まり孤立する中、調理責任者に「まずは、今ある食材を使ってみんなが1週間しのげるメニューを考えて欲しい」と指示しました。この深刻な状況がどこまで長引くか見当もつかず不安で押しつぶされそうになる人々を励ましながら、前向きな強い気持ちで避難所として受入るだけでなく、ここで新しいコミュニティ作り、ボランティアの方々のご協力をいただきながら様々なイベントを開催するなど、人々が地域に残ることができるよう努めました。



町の中心部の8割が被災した地域で、残るべくして残ったホテルだからできることを。

南三陸ホテル観洋は、創業者がチリ地震大津波の教訓から「地震に強いホテルを建てよう」と高台の固い岩盤の上に建設しました。

一部浸水した部分もありましたが、館内に寺子屋を設け、大学生の手を借りながら子供の学習支援をしたり、震災前に町おこしとして町内の飲食店に呼びかけた「南三陸キラキラ丼」を震災後もPRしたり、地域に点在するお店を集めた「南三陸てん店まっぷ」で地域活性化と交流人口の増加に努めました。



宿泊施設 南三陸ホテル観洋

太平洋の色彩豊かな景観が目の前に広がる天然温泉露天風呂から見る日の出は格別です。夕食には南三陸でとれた新鮮なウニ、鮑などの魚介を存分にご堪能ください。

宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17
TEL:0226-46-2442

詳細はコチラ



災害は絶対に起こる。
今まで起きていなかった場所でも
起こる可能性は絶対にある。

南三陸ホテル観洋
伊藤 俊

リアルストーリー



希望者を対象とした「震災を風化させないための語り部バス」で、震災の伝承と南三陸の未来について発信しています。復興が進むと同時に次々と変わる環境や景色に対応し、この場所に来たからできる体験を提供。

人の判断、決断、行動で守れるものはたくさんあります。

東日本大震災の出来事を伝え、見てもらうことで、新しい選択肢に気づいてもらい、もし同じような災害が起こってしまった時に、大切な人や仲間を救うきっかけになって欲しいと思い、活動しています。

通訳案内士として、海外の方にも正しい情報を語り継ぐ。



南三陸ホテル観洋
倉橋 誠司

リアルストーリー

近年増え続ける訪日外国人旅行者への伝承も、大切な活動の1つだと考えています。

これまでも海外の学生や研究機関を中心に、日本の防災・減災を学ぶための視察を多く受け入れてきました。

直訳することが難しい事柄だけに、通訳を介さずに思いを自分の言葉に乗せて伝承することの意義を実感しています。

多くの方へ日本の失敗を
学んでもらい、
命の大切さを伝えたい。

一般社団法人 南三陸復興みなさん会
後藤 一磨

歴史と経験から学び

知識として得られる部分と五感を通して感じられるものは違うので、それを結びつけるために語り続けています。

よく「震災が起きてても住み続けるのはなぜ？」という質問を受けますが、それは地域での助け合いや触れ合い、一次産業で暮らしていけるなど、古き良きものが沢山あるから。

震災を語り継いでいくとともに、被災体験から見てきた「人」と「自然」の関係の現実と、これからの「在り方」を語ってきたい。

詳細はコチラ





被災して再確認した「日常」への感謝。

気仙沼観光コンベンション協会

橋本 茂善

リアルストーリー

詳細はコチラ



最初は気持ちも含め整理ができていなかったため、被災事象を伝えるので精一杯でしたが、伝え続けていく中で震災をどのように乗り越えてきたか?などユーザーのニーズに合わせて内容も深掘りし、増やしてきました。

最近では、勉強熱心な外国人も増えてきており、外国語対応も含めた受入環境整備を進めています。多くの方が日常を取り戻した今だからこそ、何が起き、どう対応したかを語り継いでいます。

2 気仙沼

リアス式海岸を利用した観光や日本有数の漁業の町としても有名で、世界最大漁場の一つである気仙沼漁港が有名。

幾度となく津波に見舞われている地域だが、「海と共に生きる」を掲げ、その度に先人たちは海の恵みを信じ、復興させてきた。

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

近藤 公人

震災の記録と伝承

目に見える証として、
震災の記憶と教訓を伝える。

300インチの大型スクリーンを活用した映像資料やパネル展示に加え、隣接する気仙沼向洋高校旧校舎(震災遺構)の中に入って見学することができます。

校舎内に流れ込んだ乗用車や車が折り重なる渡り廊下、流されていった本や教科書など、目に見える証として、安全を確保しつつ、可能な限りそのままの状態で展示しています。



気仙沼プラザホテル 堺 丈明

震災の記録と伝承

気仙沼の未来をテーマに、
人と人の繋がりを伝えていきたい。



講話型でどちらかというと震災学習的な内容を、映像を見せながら、当時の話から今日までのどう復興してきたかを伝えています。

将来、海の近くに住むケースも想定して避難時にやってはいけない事や南海トラフ等の今後起こりうる震災に備え、一人一人に1つでも多くの気づきを持って帰ってもらうことを意識しています。

宿泊施設 気仙沼プラザホテル

気仙沼湾を一望する高台に立つホテルです。アワビ・フカヒレ・メカジキなど、季節に合わせた海産物と地下1800mから湧き出る浮遊浴が楽しめる天然温泉が堪能できます。

宮城県気仙沼市柏崎1-1
TEL:0226-23-1313

詳細はコチラ



事実を語り継ぐことで、
今後のもしもの時に
生かして欲しい。

一般社団法人
陸前高田被災地語り部くぎこ屋

釘子 明

避難所運営・組織づくり

3

陸前高田 大船渡

陸前高田は、東北の「海の遊び場」としてキレイな浜辺が特徴的で、夏がとても賑やかな町でした。東日本大震災での被害が最も大きかった場所の1つです。名勝高田松原も大きな被害を受け、その中唯一残った「奇跡の一本松」が有名になりました。



詳細はコチラ

自ら被災者として避難する中、混乱を極める避難所で「ルール」や「役割分担」、「用途別部屋割り」など、ホテルマンだった経歴を生かして最大規模の避難所の運営に携わりました。

その時の生の状況や声を映像・写真・音楽に語りを組み合わせ、陸前高田で起こった東日本大震災の出来事を時系列で追って紹介。ずっと見続けてきた陸前高田の昔と今、そしてこれからを伝承します。

事実と教訓を共有し、日本の自然災害に関する 学びの中心に。



東日本大震災津波伝承館

いわてTSUNAMIメモリアル

震災の記録と伝承

詳細はコチラ



地震発生メカニズム、東日本大震災がもたらした出来事、後日算出された被害状況など、映像や被災した実際の物、現場の写真、被災者の声、記録などを通して、発災からの事象をリアルに体感できます。

施設内は4つのゾーンに分かれており、貴重な映像や資料を多く展示。様々な角度から自然災害の恐ろしさと、東日本大震災の事実と教訓を総合的に学習できる施設です。

宿泊施設 大船渡温泉

三陸岩手県大船渡市の温泉ホテル・旅館「大船渡温泉」。朝日を望む絶景露天風呂や漁師オーナー厳選の海の幸、そして海と空が創るアートをお楽しみください。

岩手県大船渡市大船渡町字丸森29番1
TEL:0192-26-1717

詳細はコチラ



釜石

釜石市は「鉄と魚とラグビーの町」として知られ、海と山に囲まれた自然豊かな地域です。過去にも明治・昭和三陸地震の大津波を経験し、先人たちの思いを受け止め未来を生きる知恵として自分の命は自分で守る「自助」の教え「命てんでんこ」を教訓としてきた。

4

釜石のまちの思い・復興の柱は、
すべて子供たちのために。

浜べの料理宿 宝来館 女将
岩崎 昭子

未来へのメッセージ



現在釜石では、日本の最先端の土木技術で復興が進んでいます。ラグビーW杯もありました。その結果、地域の子供たちの顔には笑顔が満ち溢れています。あの日一度失われてしまった子供たちの笑顔を取り戻すことが、釜石の復興に繋がっています。そのため、実際に起きたことを語り継ぎ、もしまた起こってしまった時に自分の力で助かってほしいという思いを持って活動をしています。



自らも波に飲み込まれながら生還。
極限状態での選択がいのちを繋いだ。

元々地域内でのコミュニティーが形成されており、各々の役割が明確化されていたので、震災時でも指示系統を保って行動することができました。

先人の知恵と教えを伝承し続けてきた文化を、私たちも未来へ語り続けていきます。



宿泊施設 浜べの料理宿 宝来館

三陸沿岸で獲れた新鮮な魚介を、地元の料理人たちが趣向を凝らして提供しております。また、大槌湾の水平線からあがる黄金の朝日、海面に浮かぶ月の道は必見です。

岩手県釜石市鵜住居町20地割93-18
TEL:0193-28-2526

詳細はコチラ



先人の知恵を生かして、 生き延びた術を擬似体験。 「いのちの道」

三陸ひとつなぎ自然学
伊藤 聡

サバイバルストーリー



詳細はコチラ



海とともに育ってきた住人たちは、これまでに見たことのない規模の引き波から、これから起きることを予測し、素早く地域へ伝達。声を掛け合い、手を取り合い、地域のみんなで一緒に避難をしました。一気に駆け上った裏山、命を繋いだ焚き火、極限状態での選択など、生死を分けた当日の疑似体験。それが「いのちの道」です。
地域で繰り返し行われていた避難訓練。居住区、学校、行政、民間それぞれに選択があり、それぞれの結果になりました。それら全て釜石で起きた出来事を正確に伝承し、未来へつなぐことが私たちに託されたミッションだと思い、活動を続けています。



Kataribe (語り部) を世界へ "kataribe" to the world

「#Kataribe」に賛同してくれている団体の活動をFacebookにて発信しています。
今、各地でどのようなことが行われているのか？それぞれの取り組みを知ることで、未来が見えて来ます！
下記QRコードから、是非Facebookページへのフォローをお願いします！



詳細はコチラ



大槌

5

一般社団法人おらが大槌夢広場
神谷 未生

震災への意識改革



詳細はコチラ



伝えたいことはただひとつ
「大切な人を大切に」

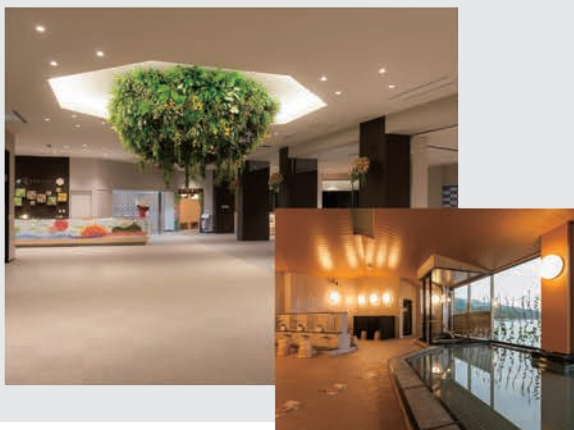
津波は大槌から様々なものを持っていきました。何もかも失った私たちが救ってくれたのは、支援に来てくれた沢山の「人との交流」です。

私たちが前を向くことができた「きっかけ」を語り継ぐことで、東日本大震災を他人ゴトから自分ゴトへ置き換えて考え、成長の糧にしてもらうことが、私たちの役割であり、大槌の未来につながるのだと思い活動をしています。



「あなたならどうするか？」の問いに向き合い、持ち帰り、考え続けてもらうこと。

これまでに多くの企業新人研修や教育機関担当者への研修で考えることの大切さを伝えてきました。「学ぶ」防災から、「自ら決断する」防災へ、大槌で見て、感じて、今後起こりうる災害から主体的に生きのびるための意識改革を促していきたいです。



宿泊施設 三陸花ホテルはまぎく

三陸花ホテルはまぎくは、2013年9月にオープンしました。地中海のリゾートホテルを思わせる客室と新鮮な海の幸、客室から一望できる三陸海岸の眺望が自慢のホテルです。

岩手県上閉伊郡大槌町浪板海岸
TEL:0193-44-2111

詳細はコチラ



6

宮古・山田

宮古市は本州最東端に位置し、緑深き森から流れる川が大海に注ぐまちで、人々の絆を大切にしてきた。昭和三陸地震津波以降、町のいたるところに大津波記念碑が建立され「何年たっても用心せよ、津波はここまできると石碑に刻み、後世へと警告を促してきた。

線路一本を隔てて、
その右と左とで景色が
全く違う場所もある。

三陸鉄道株式会社
山野目 真

被災からの復活



詳細はコチラ

三陸鉄道リアス線(盛駅～久慈駅間163km)を活用し、三陸鉄道社員が被災地の「今」を貸切列車で移動しながら伝承する「震災学習列車」を運行しています。

あの時停車したトンネルの中や恋し浜駅からの絶景など、普段とは違う目線で、直接「見て・聞いて・感じる」プログラムです。

地域と一緒に、前を向いて、今自分たちができることを。

詳細はコチラ



新生やまだ商店街協同組合
椎屋 百代

地域コミュニティ

※申し込みは、山田ワンダフルビューローまで

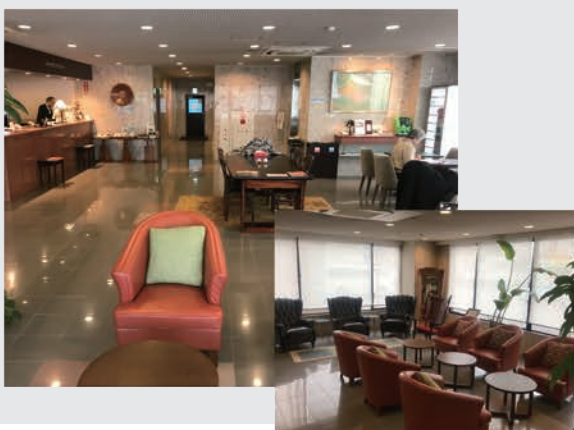
山田でどんなことが起きたか?を、タブレットを使って震災前後の写真を見比べながら、町をゆっくり歩いて散策します。途中で出会う地元の方々も巻き込み、笑顔で帰ってもらえるように、地域全体で「山田だからできること」に力いっぱい取り組んでいます。

宿泊施設 宮古セントラルホテル熊安

浄土が浜や1300年の歴史のある黒森神楽、早池峰山など自然や歴史に恵まれた宮古にあるホテルです。地元の食材や伝統食など、工夫した食をお楽しみいただいています。

岩手県宮古市新町2-5
TEL:0193-64-2121

詳細はコチラ

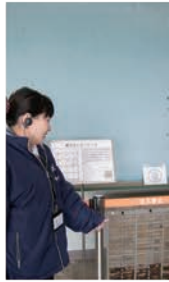


Kataribeへのお問合せ先一覧

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



住 所 …… 〒988-0246
気仙沼市波路上瀬向9-1
電話番号 …… 0226-28-9671
メー ル …… info@kesenuma-memorial.jp
開館時間 …… 9:30~17:00(4月~9月)
…… 9:30~16:00(10月~3月)
休 館 日 …… 毎週月曜日(詳細はHPをご確認ください)
入 館 料 …… 一般:600円 / 高校生:400円
小・中学生:300円 ※団体料金あり



東日本大震災津波伝承館TSUNAMIメモリアル



住 所 …… 〒029-2204
陸前高田市気仙町字土手影180
電話番号 …… 0192-47-4455
メー ル …… AJ0006@pref.iwate.jp
開館時間 …… 9:00~17:00
休 館 日 …… 年末年始(詳細はHPをご確認ください)
入 館 料 …… 無料



- 南三陸ホテル観洋 …… 宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17 / 0226-46-2442 / minamisanriku@kanyo.co.jp
(対応#Kataribe / 阿部、伊藤、倉橋 / P5-6)
- 一般社団法人復興みなさん会 …… 宮城県本吉郡南三陸町戸倉字戸倉32-14 / 0226-46-9518 / minasan.msrk@gmail.com
(対応#Kataribe / 後藤 / P6)
- 一般社団法人気仙沼観光コンベンション協会 …… 宮城県気仙沼市魚市場前7-13-2F / 0226-22-4560 / k-kanko@k-macs.ne.jp
(対応#Kataribe / 橋本 / P7)
- 気仙沼プラザホテル …… 宮城県気仙沼市柏崎1-1 / 0226-23-1313 / info@kesenuma-plaza.co.jp
(対応#Kataribe / 堺 / P7)
- 一般社団法人陸前高田被災地語り部くぎこ屋 …… 岩手県陸前高田市高田町板が沢49-1 T215-7 / 0192-47-4299 / akirakugiko7@gmail.com
(対応#Kataribe / 釘子 / P8)
- 大船渡温泉 …… 岩手県大船渡市大船渡町字丸森29-1 / 0192-26-1717 / contact@oofunato-onsen.com
- 宝来館 …… 岩手県釜石市鶏住居町20地割93-18 / 0193-28-2526 / houraikan.matsuda@gmail.com
(対応#Kataribe / 岩崎 / P9)
- 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 …… 岩手県釜石市鶏住居町29-17-20 / 0193-55-4630 / hitotsunagi.main@gmail.com
(対応#Kataribe / 伊藤 / P10)
- 一般社団法人おらが大槌夢広場 …… 岩手県上閉伊郡大槌町末広町9-29 / 080-8209-2330 / mioinusa@gmail.com
(対応#Kataribe / 神谷 / P11)
- 三陸花ホテルはまぎく …… 岩手県上閉伊郡大槌町浪板海岸 / 0193-44-2111 / info@sanriku-hana.jp
- 三陸鉄道株式会社 …… 岩手県宮古市宮町1-1-80 / 0193-71-1170 / tourist@sanrikutetsudou.com
(対応#Kataribe / 山野目 / P12)
- やまだワンダフル体験ビューロー …… 岩手県下閉伊郡山田町八幡町3-20 / 0193-82-3111 / info@yamada-fc.org
(対応#Kataribe / 椎屋 / P12)
- 宮古セントラルホテル熊安 …… 岩手県宮古市新町2-5 / 0193-64-2121

- 新生やまだ商店街協同組合 …… 岩手県下閉伊郡山田町中央町6-21 / 0193-77-3732 / info@shinseyyamada.com
- 株式会社かまいしDMC …… 岩手県釜石市鶏住居町第16地割72-1 / 0193-27-5666
- 株式会社ミキ・ツーリスト …… 東京都港区浜松町1-18-16 / 03-5404-8893
- 株式会社みちのリトラベル東北 …… 岩手県盛岡市厨川1-17-18 / 019-641-8811
- 三陸DMOセンター …… 岩手県盛岡市内丸10-1 / 019-629-5572

#Kataribe

Kataribe(語り部)を世界へ

"Kataribe" to the world

事務局:南三陸ホテル観洋

宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17

0226-46-2442 / minamisanriku@mkanyo.jp